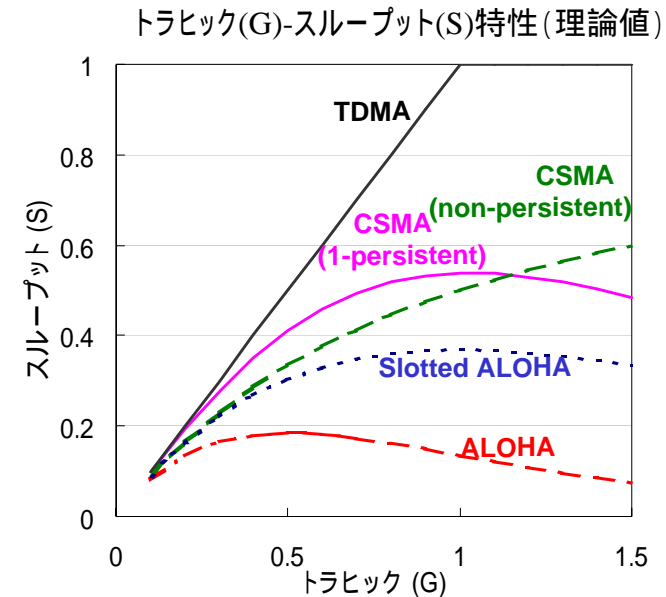


[検討事項] 通信方式にスロットアロハ等を用いた場合のスループット向上について

- ・車車間通信など、ランダムアクセス方式のトラフィック-スループット特性を右図に示す。
- ・例えば、**ALOHA方式**の場合に比べ、路側機からのパイロット信号等を用いてスロット同期を行う**Slotted ALOHA方式**とすることで、スループットは約2倍に向上する。
- ・また、各車両がキャリアセンスを行い、パケット衝突を避ける**CSMA方式**の場合に比べ、路側機が各車両にスロット割当てを行う**TDMA方式**とすることで、スループットをさらに向上することが可能である。



- ・しかしながら、全ての交差点に路側機を設置することは非現実的であり、車車間通信は、**路側機の有無に関係なく、事故低減に役立つ方式**であることが重要



車車間通信方式としては、路側機がないところで機能することを想定し、かつ、スロット同期等の方式の検討も含めて電波の有効利用を図る必要がある。